

——古来より、深き闇夜に
ひっそりと棲まう異形の存在
——「淫魔」——女体を顰り、
貶め、凋落し、快楽地獄の果ての
果てまで追い詰め続ける…、
全ての牝の天敵でありながら
女に悦びの最高潮を与える存在

今宵も、その毒牙に掛かった
哀れな華が一輪
想像以上の地獄——、否
絶頂の極楽浄土へと誘われ
二度と降りて来られぬ、
淫靡の終着点へ連れ去られた
その女の名は「桐 桜花」
——凄腕の剣技を持つ女侍——
しかし、今宵の相手には全くの
歯が立たぬまま、大量の媚毒を
浴びせられ、気を失ってしまう

だが、そのまま一度と目覚めぬ方が
幸せだったのかも知れない…
此処から体験するのは彼女にとって
人生の終着点であり、最高で最低の
快楽地獄の始まりでしかないのだ…

性華・式

女剣士・牝穴

尻穴淫獄巡り

ぐっ...不覚であつた。
「^{さかき}桜花」ともあろう者が
四肢に全く力が入らぬ、
奴らの媚毒効果が...
これ程までに凶悪とは...

忌々しい異形の
愚物共め...

我をこの様な
不様な格好で
縛りおつて...

くっ
ぬ、抜け出せん!!
このままでは...

——ッ!!く、クソッ...
やはり、こやつ等。
私の胎内に種付けを...
止せッ!!止さぬかつ!!

この我が...
国一番の剣豪と
呼ばれた我が...
成す術もなく
孕まされるなど
誰が許すか—

それ以上、その
汚らしい物を
近付けるんじや...

ンああアツ!!

ば...馬鹿なあ♡破瓜の
いつ...痛みでは無く
...なぜこんな
こんなああ...♡♡♡

し、尻♡尻穴ああつ!!♡
...う、嘘だあああつ!!♡
ああ♡...尻穴も♡ソソッ
女陰もおおおっ♡♡♡!!!

ど...とっつ...
こんな...にいい...
き、気持ち...いい♡

ち、違っ...こんなので
こんなモノでえええっ
感じたりいいいい♡
あああつ!!そ、そんなに
深く潜るなあああつ♡

はああああつ♡♡
子宮口と腸内同時に
ぐりぐりぐりするの
やめええええつ!!!
やめよおおおつ!!!♡



ああああっ♡ま、またっ
二穴にっ…び、媚薬…
流し込んでええ…♡
は、果てるうううっ!!!♡

…お、同じ場所お
ばかり…をお…
し…しつこくう
ううううっ♡!!

んあああっ♡今度は
乳首までええええっ♡
やめ…止めえええ♡

こ、これ以上…
気持ち良く…う
す、するなああ♡

な…なんだ!?
何か細いものが、
わ、私の内股を…
這いずって

ま、まさか…待てっ
待つのだっ!!
…そ、そこはっ!!!
さ、陰核だけは

んなあああ…あ♡
あああああ♡
アアアあっ!?!♡♡



な...何だ?何か
変な音を...そ
そんな...まさか!?

しゃ、射精...!!
ま、待てっ!今
中に出すのは...
出されては...

ポコッ...♡

ポコッ♡

ああっ!!!...だ
ダメだっ!!!
もうこれ以上は
無理よおおっ!!!

...!!

びん♡
びん♡
びん♡

びん♡
びん♡

びん♡
びん♡
びん♡

びん♡
びん♡

びん♡
びん♡

びん♡
びん♡

また、イクううう
ううううううう
ううううううう

異形の子種つ
いつばい出され
ながらあつ!!!

あああつ♡で
出てる中に!!
膣内にいつ!!!

いつておると...
言うて...えええつ
ええええ♡♡♡!!!

んんん♡
んんん♡
んんん♡

ああアツ!!!
ももう、イクて
いつてるっ!!!♡♡



んおっ!!

ま...まで、
...まさか
そんなっ!?

これ以上...
奥まで来る
つもりじゃ...

ま、待て...
待つてええ
ええええ!!!

おっ♡



おっ♡

おっ♡

おっほおおおお
おおおっ♡!!!



んあああおっ♡!?!
壊れるっ!!壊れ
りゅうううっ♡!!
私の肉穴あおっ♡

っ、突きっ♡激し...
激し過ぎるうううう
ううううん!!!♡♡

い、い、い、い♡
イカされるっ!!
我がまんなので
またイカされる
ううううう!!!

ド4=4=4=4!!

幕間 壱 「榊桜花の人生」

——たった数刻で、桜花の人生の全てを
色で染め上げ、塗り替えられた気がした

女侍として剣に生きてきた強さなど、
今や何の価値もない。惨めに喘ぎ声を
上げ続ける牝犬が二匹……

己の身体がここまでイヤらしく、淫らで
艶めかしく蠢いている——

あれ程までに忌み嫌い、幾多も屠ってきた
淫魔の手で犯され続けているのに……
自分の意識に反して、身体反応は実に
正直で誠実で、本物の女の悦びに耽つてる

「はああああっ♡おあっ♡イクっ
イクっ♡あうっ♡あうっ♡あうっ♡あうっ♡」

とても武士とは思えぬ言葉を、強者が
発してはならぬ甘い声色で啼いている……
それこそが、今の自分「榊桜花」である事を
理解するのに、かなりの時間を要していた

そんな卑猥な折檻を幾度も受けながら、
何時しか桜花の意識は深淵に堕ちていた

んはあああっ♡!!
そ、そんなっ♡また
あああ……っ♡

そ、それ以上……同じ場所を
責める……なあああ……♡あっ!?
乳首と陰核、同時にいいいいっ!!?
き、気持ち……良すぎるっ♡♡
良すぎるからあああああっ!!!♡
ああっ……う、うそっ!?また、
また膣内射精来るっ♡!!!

あああっ♡♡
ダメっ!!中は
もう中に出すの
駄目ええええっ♡

やめっ……♡

おーおー…
僕を退治しに来た
愚かな女剣士が
どんなモノか
観に来てやったが

ん…あ…!!

な…なんだ…
コイツ…これ
これはマズイ…

所詮は小娘。
やはり、股を濡らし
尻を震わせるのが
お似合いの牝犬か

み…視られて…
観られるだけで
身体が疼く…

い…今迄に相手した
淫魔などとは比べ物に
ならない程の…魔素と
…邪悪さ…何より…
女を騙る事だけに…

…アア…
…ああ…

慰み者にする為だけに
存在する、妄執の塊…
全ての女の天敵であり
快樂地獄を与える続ける
異形過ぎる化物

うあ…だだめ…
ダメだ…あああ…
あの眼を見るだけで…
し子宮が…疼いてえ…
我慢出来なくなるう…

はああああ
ああああ

僕の淫腕の
絶技をな。

ンあっ…!!
な、何して…ええ
えええええっ!!!

ほう…良いな。
僕を一目見ただけで
本質を悟ったか。

頭より先に貴様の
女陰が反応し、軽く
潮を噴いておる…

あ…あああ…
あそこが勝手に
反応してえ…

またまた…
ううううう…

良からう、その
慧眼に免じて
貴様に寝美を
くれてやろう
遠慮せずに、
たっぷり
喰らうが良い

んぎゅん

ビクッ
ビクッ
ビクッ



おつ...おおつ...
お、お前...なっ
何してえええっ!!!

や、やめろっ...
止めろと言っ
て...!!
止めぬかあつ

イヤあああ
あああつ!!!

尻穴を穿る度に
嬌声を垂れ流す
淫らな牝畜よ。

ほれほれもつと
囁るが良い
淫穴を弄られ

おつ...おおつ...
そんな...そんな
場所おおおつ

儼はな、
全ての女が
好きじゃ

んんん...
乳自っ...乳自い
ほおああつ...
乳自しゅりしゅり
するなああつ

何と言ったか...
そつじや、生殺し。
「女体の生殺し」
これが儼の最終解
牝其の終着点よ。

故に殺しはせぬ
だが、
生かしもせぬ。
色に溺れさせ、
淫濁に狂わせる。

ほれこの奥の此処。
子宮手前の場所。
ぼつてりとした肉丘。
この場所などとても
良いのじやろう??

1時間経過

んなあああつ♡
ま、また中いい♡
イイイイ♡
おおおつ♡お尻の
お尻の穴あああつ♡
尻穴拡がるう♡

太いのでギョルギョル
しないでっ…♡
桜花の尻穴、これ以上
穿らないでえええっ♡

ほれほれドンドンと
飲み干していくが良い
僕の触手は幾らでも
存在するからのう。

ならば、鷲の玩具と
なる事を認め、
此処で飼われると
誓うか？ んんっ？

そ、それもダメっ♡
ダメよおおおつ♡
そんなの出来ないっ♡
認められないっ♡
イイいっ♡!!

…では解るまで
穿ち続けてやろう
僕好みの牝肉壺に
仕上がるまでなあ

そ、それも嫌ああ
あああああつ!!!♡

んなああああつ!!
ま、またそんな♡…
深い場所おおお
おおおおおつ!!!♡

くくっ…
やはり女剣豪と
言えど、所詮は牝
肉壺を突くだけで
簡単に喘ぎおる。

ほれもつと
尻穴を締めねば
何処までも入り
込んで行くぞ

は、激し...
激し過ぎる...
うふふふふふふふふふふ

くっ...堪らぬな
二穴を弄るだけで
強情な性格の女が

囁く様は何時見ても
素晴らしい。貴様も
そう思わぬか小娘？

は
は
は
さて...頃合いが
先ずは手始めに
「最初の生の終わり」
死と同等の快楽を
貴様に与えてやろう。

は
は
は
そ...そんなつ...
死の快楽なんて
絶対...嫌ああ...

ゆ、許して...
お願い、それだけは
それだけは止めてえ
お願いだからあ...

のおおおおつ
お、お尻の穴...
あなあああ

あああああつ
そんな場所です...
深い所で感じたく
ないのにい

く...苦しむにつ
...気持ちよ...
快感に塗り替えて
いくの止めえ

感謝しろ、自分が
牝に生まれた事を。
後悔するが良い
女に生まれた事を。

この淫蕩責めの
更に上位の領域に
昇らせてやるのだ
光栄に思うが良い

思わない...
思いたくない!!
そんな悍ましい
快感、要らないの
よおおおおつ



聞けぬな

おおっ...良い、
良いのう。やはり
若い女子の膣穴は
活きが良いわい。

これは幾らでも
精を放って
やれそうじゃ...

ほれ、貴様も存分に
その淫らな肉體で
精を堪能するが良い

おお...声も出ぬ程
悦んでおるのか。
これは更に中出し
してやらねば
失礼と言ふもの。

なんでっ?何で射精
止まらないのっ?!!
ま、まって...これ以上
出されたらっ...ああ
あああああっ!!!

げ、限界っ...限界くるっ
アタシの子宮...ううっ
弾けちゃうううっ!!!

ホントに...っ
本気で死ぬっ?!!
死んじやうからあ
あああああっ!!!

お終わっちゃうっ
アタシ♡ホントに
おわっちゃうっ
のおおおっ!!!

イクイクイク
イクっ♡イクっ
イクてるのに
またイカされて

ち...違っ...
す、凄すぎて...
声が出ないだけ
よおおおっ

...と、止まつてっ!!!
とまってえっ♡止まれっ
てばあああああっ!!!

27

人の女が懸命に喘ぎ喚んでいる

「いった逝ったって、はあ、あ、あ、♡♡」

牝がイク事など当たり前前の事であろうが

榊桜花を犯しながら、大淫魔はそう思った。

剣士としての、強さと輝きを秘めていた。

所詮は只の小娘にしか過ぎぬのだ――

氣配が無いのは中々に重畳であつた。

有りやも知れぬ

しかし、それには、少なくとも三日三晩は

この淫獄に耐え、壊れなければだが……

女剣士は雄を欲情させる艶声で啼き続ける。

射精しちゃああああっ♡!!」



う…あああ…
ああ…あ…♡

ああ…牝穴あ…
…壊れてえ…♡
壊れちゃうう…

ふむ…先ずは
一段落と言った
ところかのう…

二度に一度は
死なせてしまっ
た荒行に耐えるとは

やり過ぎて、早々に
壊してしまうのは
勿体無い肉穴よ。

では再開と行こう
なあと、次は更に
良くなるよう…

媚毒の量も質も
上げてやろう。

小娘よ、まだ
壊れるで
ないぞ？

も、もう許し…ええ♡
ああ…♡…あたし…
アタシの穴ああ…♡

すっ♡凄いのキタあ
ああああああ!!!♡
ま、待つてッ!!!これ
待つてええええッ。

おおおおおおおつ
オオオオオおつ♡!?
んおおおおおつ!!!
おオオオオおつ!!!♡



……は？

おや？……どうした小娘
まるで生娘が初めて
男子の肉棒を見た様な
怯えた顔をしおって……

処刑用……だと？
こんな大きな
耐えられる筈ない……

心配するな、
最初から全部は
飲み込ませぬわ。
……じゃが、油断すると
大変な事になるでう
しっかりと肉霊を
絞めるが良いくっ

先ずは一段目の
肉魔羅からじゃ……
これでも生娘には
充分すぎる程の
極太逸物よ

よ……ホントに
……こんなので
貫かれたら……
……本当にお
……終わってしまう

さあて……何処まで
耐えるか見物だが……
まだ壊れてくれるな
侍の小娘よ

やっ……止めっ……
止めておあつ!!

……さ……

……さ……

んはああアアア
アアアアアア
あああつ!!?♡

う、嘘お……何で……
こんなのでええっ♡
気持ちイイのよお
オオオおおっ♡!!?

子宮潰されるっ♡!?
ゴリゴリのイボイボが
みっしりと我の中を
埋め尽くし肉壁抉って
来るうううっ♡!!

んおおおっ♡!!?
ごりゅごりゅっ♡
アソコが削られてえ
ええええっ♡♡!!!

どっじゃ？己の身体を
肉壁一つで支える死の
恐怖と快感を重ねた
極悪な責め苦の味は？

ふ……深いいい
いいいいいっ!!?♡

おお……肉壁が
今までにない程
本気で締め付けて
来てるのう。

油断すると
死が待ってる
文字通りの
地獄の快楽じゃ

だが、それがまた
凶悪に気持ち良い
……そうじゃろう？

——アツ♡おっ♡
う、嘘ツマ……また
イクっ♡イカされよう
イクっ♡ううっ♡♡!!!

おっと、うっかり
忘れておったな。
こっちの穴も
調教再開じや

またお尻いいいい
おおおおっ♡!!!

い、いずれ…體の
…身体があ…げ、
限界に…んんっ♡
乳首だめえっ♡!?

あぁっ♡限界……
限界の筈なのに
また♡イクぅぅ
うぅぅぅぅっ♡!!!

だ…駄目…え♡
流石に…これは
…このまま…で
はあ…ああっ♡♡

ほうれ、もっと
淫らに尻を振って
悦びを示さぬか

おひつ!?

はぁあゝあゝあゝあゝ

んおおおおつ♡!!
イってるっ♡イッテ
逝ってイキまくるっ♡
止まれっ止まってええ

強者の女子が
下品な喘ぎ声で
嘆く様は美に良い
ほれもっと淫らに
啼いてみせい!!

あつ!?す、凄いつ
あ♡あたしの肉壺っ♡
こんなに滅茶苦茶に
されてるのにいいつ

それ、この責めも
好きであったなあ
尻穴をこんな風に
振り回すと

あああああつ♡
お尻いつ♡上下に
振るのヤメてえええ
えええええつ♡!!

尻穴拡がるうううっ♡!!!

こ、こんなの…
最後まで…我慢…
ああ…我慢んっ
あつ!?また来るっ♡
はああああつ♡♡!!!

クククっ…尻穴も
随分と馴染んだのう
恥じらい声で快感に
耽る姿も格別じゃ

はああああつ♡
そんなんっ…またっ
またイキつばなしに
されちやううっ♡!!!

では
新たな肉奴隷の
誕生祝いに祝砲を
くれてやろう

貴様の膣と尻
両穴へ目掛けて
満タンになるまで
注ぎ続けてやる

んな…っ!?
や、止め…それだけは
止めええ

なあに、礼はお主の
淫らな性の戦慄きで
充分じゃ…さぞかし
良い声で鳴いてくれる
じやうて……

止め…ヤメと
言ってるのにっ!!
ああ…また私の
膣内で膨らんでえ
イヤアアああつ!?

では
篤と味わうが良い
人の限界を超越した
魔の精液の真髄をな

ま、待てっ…お願い
待ってええええええ
ええええええええ
ええええええええ!!?

聞けぬわ

んひっ♡!?
ひゃあああああ♡
あああ♡!? イク♡
イク、逝く、いくううう
うううううう♡!!!

こ…これっ♡本気っ
本気のおおあ♡
い♡淫魔の精子いい
イイイいいいっ♡!!!

んんっ♡絶対…我を
はっ♡…孕ませるっ
特濃精液いいいっ♡
子宮に塗り込まれて
イクううううっ♡!!!

ああああアア
あああああ♡
み、皆、来るなあ
あああ♡!!!

出る度に♡イクッ!!
イキ続けちゃうう♡
も、もう出すなあ…
出さないでええ♡

…おおお…
まだ出るっ…
出てるううっ♡!!!

くっ…此処までも
未だ壊れぬのは重畳よ。
ならばもっと爛り続けて
くれよう…。そして他の
牝を釣る餌となるが良い

イクっ♡イカされ
続けるうううっ♡
いイキ死ぬっ?!

こ…こんなの♡
死んでしまあ…
…あああ♡!?
イクうううっ♡!!!

己の命尽きるのが先か、
新たな貴が釣れるのが
先か…、愉しみじやのう

おおおおっ♡
イクイクイク♡
あああああ♡!!!
壊れりゆうううっ♡

奥付 誌名：

性華・弐

——女剣士 牝穴尻穴淫獄巡り——

発行：H・B 代表：B-RIVER 初版：2025/06/30

X(旧twitter)：@biriban

Pixiv: <https://www.pixiv.net/users/11900>

本作品の無断転載(ネット含む)、無断使用(AI学習含む)
及び、未成年の購入、閲覧を禁じます。

女侍「榊 桜花」

元々は武家の娘で
人相手の剣術に長けていたが
ある事件をきっかけに
淫魔と出会い、それを退治した
その後は退魔師の巫女達と
行動を共にし、
用心棒的な存在となる

一人称は「我」「儂」などの
古風な言い回しをしているが
これは女剣士として
舐められぬ様に周りに
振る舞い続けた故の口調で
性的な昂ぶりが極まると
年相応の口調に戻ってしまう

甘味ものに目がなく
あまりに美味しい和菓子を
口にした時もつい口調が
戻ってしまう事もしばしば

此度の尻穴凌辱に戸惑いを
見せていたが、実は元々、
一人で慰める時にも尻穴を
軽く弄って好む癖があり、
淫魔にはそれを最初から
見破られていた。

